

ボートレース事業の収益基金の活用

ボートレース事業の収益は、昭和27年4月の開設以来、これまでに約1,191億円を市に繰り入れ、さまざまな事業に活用してきました。平成30年度にはボートレース事業の収益を積み立てる基金を設置し、公共施設等の整備に使っています。なお、令和6年度は約64億円のボートレース事業の収益金を公共施設等の整備に活用しました。

ボート基金を活用し整備した施設には、「ターンマーク坊や」が目印のお知らせ看板を設置しています。皆さんの身近なところで、ボートレース事業の収益金を活用していますので、「ターンマーク坊や」を探してみてください。



この施設は、ボートレース事業の収益を活用して整備されたものです。

大村市

令和6年度中に整備が完了した主な施設

福重小学校(校舎改築)

地域住民の避難場所として活用する多目的室や防災倉庫を設置しています。



建物外観



多目的室



トイレ

西大村中学校(体育館改築)

建築後58年(昭和40年建築)が経過していた体育館の改築を行いました。



建物外観



屋内

新大村駅公園

天然芝の養生のため、令和7年夏の供用開始を予定しています。



全景



トイレ

市内各地区や PTA連合会からの 要望

各地区からの市道や農道、公園などの整備に関する要望や、PTA 連合会からの通学路上にある危険箇所の改修に関する要望の改善に取り組んでいます。

主な改善箇所

三浦地区



カラー舗装

鈴田地区



側溝整備

大村地区



転落防止柵の設置

西大村地区



公園トイレ整備

萱瀬地区



側溝整備

竹松地区



側溝整備

福重地区



転落防止柵の設置

松原地区



側溝整備

ボートレース大村独自でも、レース場周辺の
環境整備に取り組んでいます

大村公園の環境整備

公園内のスロープ整備や、白壁塀の塗装、駐車場整備などを行いました。



スロープ



白壁塀



駐車場